

質問 9. ここ数週間のあなたの生活についておたずねします。以下の質問それぞれについて、ひとつずつ最も該当すると思われる回答欄の番号ひとつに○印をつけて下さい。

1	何かをする時にいつもより集中して	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. いつもよりできなかった	4. まったくできなかった
2	心配事があって、よく眠れないことは	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
3	いつもより自分のしていることに生きがいを感じることは	1. あった	2. いつもと変わらなかった	3. なかった	4. まったくなかった
4	いつもより容易に物事を決めることが	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. いつもよりできなかった	4. まったくできなかった
5	いつもストレスを感じたことが	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
6	問題を解決できなくて困ったことが	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
7	いつもより問題があった時に積極的に解決しようとするのが	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. できなかった	4. まったくできなかった
8	いつもより気が重くて、憂うつになることは	1. まったくなかった	2. いつもと変わらなかった	3. あった	4. たびたびあった
9	自信を失ったことは	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
10	自分は役に立たない人間だと考えたことは	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
11	一般的にみて、いつもよりしあわせと感じたことは	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった
12	ノイローゼ気味で何もすることができないと考えたことは	1. まったくなかった	2. あまりなかった	3. あった	4. たびたびあった

問 10. あなたが自分の仕事に不満を持つのは、どのような時ですか？  
(普段から持っている不満でも構いません) ご自由にお書き下さい。

問11. 2000年に実施された介護保険制度には、市町村の保健師の80%が関与することになっております。このため多くの保健師の方々から、今後の介護保険についての関係について、さまざまな意見が出され、本院でも今後の地域保健活動と介護保険制度とのあり方について検討しております。そこで最後に、介護保険制度に関してのあなたのお考えについて、お尋ねいたします。

(1) あなたの所属する部署の部門を以下から選択し、○印をつけて下さい。

1. 保健	2. 保健福祉	3. 福祉	4. 介護	5. その他( )
-------	---------	-------	-------	-----------

(2) 介護保険制度に関する業務の経験について、以下の最も該当するものに○印をつけて下さい。

1. 非認定者(要介護認定後、“自立”と認定された者)のフォロー	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
2. 要支援者への介護予防	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
3. 要介護者への介護指導	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
4. 相談・苦情処理	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
5. 介護認定調査の実施	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
6. 要介護・要支援者の社会資源利用	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
7. 要介護・要支援者への個別指導	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
8. 介護認定調査員への研修・指導・助言	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
9. 介護サービス事業者・施設との連携・調整	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
10. 介護支援専門員への研修・指導・助言	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
11. 介護サービス事業者・施設への指導・助言	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
12. 介護サービス計画(ケアプラン)の作成指導およびチェック	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている
13. その他( )	1. 経験なし	2. 以前、やっていた	3. 今、やっている

(3) あなたは、(2)の1～12に示された業務内容は、保健師の重要な本来の業務だと思いますか。  
「2. いいえ」と回答された方は、その理由を記入して下さい。

1. はい	2. いいえ( )
-------	-----------

(4) 介護保険制度に関連する地域保健活動の取り組みとして、以下の中から、あなたが最も重要と考える内容ひとつに○をつけて下さい。

1. 老人保健福祉施策との連携	2. 地域保健政策との連携	3. 健康づくり、介護予防活動の強化
4. 要介護高齢者のニーズの発見と総合調整	5. サービス供給体制の整備	6. 非認定者へのフォロー
7. サービスの質の確保のための調査や助言	8. 要介護認定の質の確保	9. 相談・苦情などの情報活用
10. 介護保険制度に関する地域へのPR活動	11. 介護サービス計画(ケアプラン)への助言	
12. 介護支援専門員への指導、助言	13. その他( )	



問4. 今回挙げて頂いた1事例における、あなた自身の連携活動状況についてお尋ねします。該当する番号をひとつ選んで下さい。

1	あなたは、他の関連機関(住民組織を含む)と分担して援助活動をしたとき、進行状況や結果をその機関に報告していましたか	1. まったく報告しない 3. 必要に応じて報告した	2. あまり報告しない 4. いつも報告した
2	あなたは、利用者(事例、ケース)が、どんな制度や資源を利用しているか、把握していますか	1. まったく把握していない 3. ある程度把握した	2. あまり把握していない 4. 大変よく把握した
3	あなたは、サービス提供に必要な知識や情報を、関連する他の機関(住民組織)から集めていましたか	1. まったく集めていない 3. だいたい集めた	2. あまり集めていない 4. よく集めた
4	あなたは利用者(事例、ケース)の相談内容や問題状況を基礎に、関係する他部門や他の機関に対して必要とされる行政サービスやインフォーマルなサービス、事業、資源・制度、保健・介護および福祉サービスの内容を文章化し、提案していましたか	1. まったくしていない 3. ある程度した	2. あまりしていない 4. よくした
5	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)に協力を要請しましたか	1. まったくしていない 3. ある程度していた	2. あまりしていない 4. よくした
6	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から協力を要請されましたか	1. まったくされない 3. よくされた	2. あまりされない 4. 大変よくされた
7	あなたは、ご自分と関連する専門職の集まりだけではなく、他の職種・専門職の集まり(会議)にも参加していましたか	1. まったく参加しない 3. かなり多くの集まりに参加した	2. あまり参加しない 4. すべて参加した
8	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から、その機関の業務や実態に関する内容を聞いていましたか	1. まったく聞いていない 3. よく聞いていた	2. あまり聞いていない 4. すべて聞いていた
9	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)にどのような専門職がいるか、把握していましたか	1. まったく把握していない 3. ある程度把握していた	2. あまり把握していない 4. 大変よく把握していた
10	あなたは、事例検討会などの説明会への参加を、同僚に呼び掛けましたか	1. まったく勧めない 3. ある程度勧めた	2. あまり勧めない 4. 積極的に勧めた
11	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)や他の職種との親睦会に参加していましたか	1. まったく参加しない 3. よく参加した	2. あまり参加しない 4. すべて参加していた
12	あなたの機関では、新規の保健師が就任した場合、関連する他の機関(住民組織を含む)に挨拶回りをしていましたか	1. まったく回らない 3. だいたい回った	2. あまり回らない 4. すべて回った
13	あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)が参加する会議などにおいて、自分の判断で一定の費用負担を決定していましたか <small>☞ 14</small>	1. まったくしない 3. だいたい決定している	2. あまりしない 4. いつもする
14	あなたは、自分の業務内容について、関連する他の機関(住民組織を含む)に資料、情報を伝達していましたか <small>☞ 15</small>	1. まったくしない 3. だいたいしている	2. あまりしていない 4. すべてしている
15	あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)・専門職で集めた利用者の情報を、管理していましたか <small>☞ 16</small>	1. まったく管理していない 3. だいたい管理していた	2. あまり管理していない 4. すべて管理していた

問 5-1. 今回挙げて頂いた1事例における、連携先の機関名についてお尋ねします。それぞれの機関の連携状況について、最も該当する回答欄の番号ひとつに○印をつけて下さい。

1. 連携していない 2. 連携しているが、まったく役に立たない 3. 連携していて、いくぶん役に立っている  
4. 連携していて、ほぼ役に立っている 5. 連携していて、とても役に立っている



1. 保健所・市町村保健センター	1	2	3	4	5
2. 医療機関（診療所・病院など）	1	2	3	4	5
3. 本庁（県庁、所属自治体中枢機関）	1	2	3	4	5
4. 役所内の他の部署・住民組織	1	2	3	4	5
5. 公民館	1	2	3	4	5
6. 教育委員会	1	2	3	4	5
7. 保育所・幼稚園	1	2	3	4	5
8. 学校（小・中・高・大）	1	2	3	4	5
9. 児童相談所	1	2	3	4	5
10. 福祉事務所	1	2	3	4	5
11. 社会福祉協議会	1	2	3	4	5
12. 知的障害者福祉施設	1	2	3	4	5
13. 警察署・消防署	1	2	3	4	5
14. 検査機関	1	2	3	4	5
15. 訪問看護ステーション	1	2	3	4	5
16. 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5
17. 精神障害者社会復帰施設	1	2	3	4	5
18. 在宅介護支援センター	1	2	3	4	5
19. 居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5
20. 訪問介護事業所	1	2	3	4	5
21. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1	2	3	4	5
22. 労働基準監督署	1	2	3	4	5
23. 薬局	1	2	3	4	5
24. 企業	1	2	3	4	5
25. マスコミ	1	2	3	4	5
26-1. その他（ ）	1	2	3	4	5
26-2. その他（ ）	1	2	3	4	5
26-3. その他（ ）	1	2	3	4	5
26-4. その他（ ）	1	2	3	4	5

※連携している機関が回答欄の項目にない場合は「26. その他」にお書き下さい。また、あなたが所属している機関の欄は空欄で構いません。

問 5-2. 上記で「連携した」と回答した連携先とは普段から交流がありましたか？  
該当するものに○をつけて下さい。

1. よく交流していた 2. 時々、交流していた 3. 全く初めてだった 4. その他（ ）

問 6-1. 今回の事例では、何か問題やトラブルなどは発生しましたか？該当するほうに○をつけて下さい。  
「1. はい」と答えた方は、差し支えなければその問題やトラブルはどのような内容だったかもご記入をお願いします。

1. はい（内容: _____）
2. いいえ

問 6-2 「問 6-1」で「はい」とお答えされた方にお伺いします。その問題やトラブルに対して他機関と連携を始めたのはいつ頃からですか？該当するものに○をつけて下さい。

1. 問題などの発生前	2. 問題などの発生直後	3. 問題などの経過中
4. 問題などの処理直後	5. 一定期間経過後	6. 処理終了後

問 6-3. 「問 6-1」で「はい」とお答えされた方にお伺いします。問題、トラブルなどへのあなたの関与方法はどのようなかたちでしたか？該当するものに○をつけて下さい。

1. 事前承認	2. 事後承認	3. 直接関与	4. 協議を受ける
---------	---------	---------	-----------

問 7. 今回の事例で連携先機関へ望んだことは（最も協力してほしかったことは）何でしたか？ご自由に3つまでお書き下さい。

1.
2.
3.

問 8. 最後に、これからの保健師にとって、重要と考えられる業務と職能についてご自由にお書き下さい。

記入例:①命に関わるような危機介入事例への関与。  
②他機関から依頼のあった事例への関与。

--

恐縮ですが、いま一度、記入漏れがないか、お確かめ下さい。  
また、お手数ですが、この記入済み調査票は、  
調査管理者に、ご提出下さい。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。

自由記載分類案

保健師の連携活動に関する調査（自由記載欄）

問8 これからの保健師にとって重要と考えられる業務と職能について

- (1) 重要と考えられる業務
  - 1 処遇困難事例への関与
  - 2 ハイリスク事例への関与
  - 3 他機関から依頼のあった事例への関与
  - 4 危険介入事例への関与
  - 5 生活習慣病予防事業
  - 6 糖尿病対策
  - 7 禁煙教室
  - 8 地域づくり事業
  - 9 健康づくり事業
  - 10 ヘルスアップ事業の推進
  - 11 高齢者の自立支援等の事業
  - 12 閉じこもり予防
  - 13 働き盛り・壮年期へのアプローチ
  - 14 一次予防・二次予防事業
  - 15 疾病の予防に関する事業
  - 16 精神保健相談、指導
  - 17 障害児・者への支援
  - 18 母子保健業務
  - 19 育児支援
  - 20 思春期保健への関与
  - 21 虐待事例への関与
  - 22 虐待予防
  - 23 社会復帰事例への関与
  - 24 感染症関連事業
  - 25 介護予防事業
  - 26 介護保険
  - 27 基本健診等のフォロー
  - 28 家族支援
  - 29 新規事業の展開
  - 30 制度から外れてしまうケースへの支援
  - 31 保健事業計画の策定

- 3 2 心のいやし、ストレス
- 3 3 DV予防、関わり
- 3 4 難病対策
- 3 5 国際保健
- 3 6 少子化対策

(2) 職能について

- 1 ネットワークづくり
- 2 コーディネート
- 3 地域組織づくり
- 4 住民の自立支援
- 5 地域資源の開発
- 6 予防的活動
- 7 他機関・他職種との連携
- 8 ケアマネージャーへの助言・指導（他職種への助言・指導）
- 9 アセスメント能力
- 10 プレゼンテーション能力
- 11 ケースマネジメント能力
- 12 ヘルスプロモーション
- 13 コミュニケーション能力
- 14 リーダーシップの発揮
- 15 危機管理能力
- 16 事業の評価
- 17 地域の実態把握、地域診断能力
- 18 住民と主体とした関わり
- 19 適切な時期に即対応できる力
- 20 地域の問題を施策化、企画能力
- 21 行政的視点を持った活動
- 22 情報処理能力（収集）
- 23 行政事務能力の向上
- 24 住民の健康度アップ、健康増進
- 25 情報・データ・記録管理
- 26 潜在化している健康問題（健康課題）への関与、その事業化
- 27 養成時の迅速な対応
- 28 職場の健康管理、自己健康管理
- 29 啓蒙活動



- 3 0 優先順位を付けた援助
- 3 1 関係者・職能の研修
- 3 2 専門職としてのスキルアップ
- 3 3 行政の中での保健師の役割の確立
- 3 4 保健師としての専門性を生かす
- 3 5 専門性を生かした実践能力
- 3 6 地域でなんでも相談できる環境、立場
- 3 7 地域住民の声を聞き、ニーズにあった事業を展開
- 3 8 信頼される活動
- 3 9 論理的な文章表現
- 4 0 柔軟な対応、臨機応変
- 4 1 客観的視点
- 4 2 全体を見る視点（生活）
- 4 3 目標の明確化
- 4 4 効率の良さ
- 4 5 探究心
- 4 6 先見性
- 4 7 傾聴
- 4 8 実行力
- 4 9 やる気
- 5 0 親しみやすさ
- 5 1 創造力
- 5 2 判断力
- 5 3 精神的強さ
- 5 4 社会資源等の情報提供
- 5 5 地域住民との協働
- 5 6 職域との連携
- 5 7 問題処理能力
- 5 8 連携した関わり
- 5 9 住民参加
- 6 0 個と集団アプローチのバランス
- 6 1 家族全体への支援
- 6 2 生き生きらせる環境づくり、生活支援
- 6 3 住民への普段からのアプローチ
- 6 4 カウンセリング的対応
- 6 5 生涯にわたる健康管理

- 6 6 関係課、他機関と協同で実施する事業の開発、実施
- 6 7 家庭訪問
- 6 8 専任保健師
- 6 9 財政効果を考えた事業
- 7 0 臨床経験の義務付け
- 7 1 政策を提言できるポスト確保
- 7 2 研究

(3) その他

- 1 PHNのPR
- 2 異業種間交流、他部署配置
- 3 チームでの対応
- 4 予算の獲得
- 5 業務の整理
- 6 PHN配置規準の設定
- 7 PHN不要

**問7** 連携先機関に望んだこと

(1) 情報の入手

- ① 情報提供
- ② 情報の共有、交換

(2) 体制づくり

- ① カンファレンス・ケース検討・話し合い
- ② 緊急時の対応
- ③ 見守り（インフォーマルな体制として）、安否確認
- ④ 24時間夜間対応（インフォーマルな体制として）
- ⑤ 保健・医療・福祉の連携
- ⑥ ケアプラン
- ⑦ チームによる関わり

(3) 役割分担

- ① 役割分担、役割の明確化
- ② 各機関できることの確認
- ③ 医療・看護（診断・治療・往診等）
- ④ 入院させて欲しい
- ⑤ 施設（入所・入園・保護等）
- ⑥ 安全の確保
- ⑦ 介護（サービス導入・継続等）
- ⑧ 警察の介入
- ⑨ 学校
- ⑩ 移送

(4) 方針の統一

- ① 方針の統一

(5) 評価

- ① 関わり方の評価

**【1】** 全体的な関わり方

- ① コーディネート、全体的な関わり方
- ② 多方面からの専門的支援
- ③ 一緒に考え、一緒に関わって欲しかった
- ④ 助言、指導が欲しかった
- ⑤ 臨機応変な対応
- ⑥ 制度の利用・紹介

- ⑦ すべきことをしっかりする
- ⑧ 環境整備
- ⑨ 迅速な対応
- ⑩ 同行訪問
- ⑪ 積極的な関わりを
- ⑫ スーパーバイザーが欲しい
- ⑬ 垣根の低い互いのコミュニケーション
- ⑭ 課題の共有
- ⑮ 時間的配慮
- ⑯ 継続的な支援
- ⑰ 互いをプロとして尊重
- ⑱ キーパーソン

## 【2】本人・家族への関わり

- ① ケース（本人）の状況把握
- ② 話し相手、相談相手
- ③ 本人、家族、病気を理解しての関わり
- ④ 本人、家族への配慮、家族間調整
- ⑤ 本人への支援
- ⑥ 本人の意思確認、本人尊重
- ⑦ 家族への支援
- ⑧ 本人への十分な説明、情報提供
- ⑨ 本人・家族別々の担当

## 【3】行政的視点

- ① ボランティアの育成・協力
- ② 行政面、身分保障
- ③ 住民への説明
- ④ 社会資源の開発、利用
- ⑤ 資産管理
- ⑥ 情報の管理、プライバシーの保障
- ⑦ 利用サービスの充実
- ⑧ 上司からの心理的援助
- ⑨ 移動時の引継ぎきちんと（長期勤務を）
- ⑩ 機関としての判断、対応

(6) その他

- ①将来ビジョンの提示と提言（今後の支援計画）
- ②親睦会等への参加
- ③同じ悩みを持つ者（親等）の交流
- ④担当者を変えて欲しい

問10 自分の仕事に不満を持つのはどのような時か

(1) 忙しさに関すること

- ① 業務が忙しい時、業務量が多い
- ② 事務量が多い時
- ③ 人が増えない時
- ④ 予算が減っていく（付かない）時
- ⑤ 忙しさの中で広く浅い対応になりがち、中途半端な時
- ⑥ 地域活動や個別対応（訪問活動等）ができない時
- ⑦ 評価やまとめの時間が取れない時
- ⑧ アンケート等、調査者は多く忙しい時
- ⑨ 会議が多い時
- ⑩ カンファレンスや話し合いの時間が取れない時
- ⑪ 新しい企画や仕事の準備に時間が取れない
- ⑫ 新人保健師や後輩の指導に追われている

(2) 職場・組織・環境に関すること

- ① 不適切な職場環境（集中して仕事ができない等）の時
- ② 上司の理解がないとき（本課含む）
- ③ 職場の人間関係が悪い時
- ④ 組織としての対応等ができていない時
- ⑤ 関係機関、他職種から理解が得られないとき（住民含む）
- ⑥ 相談できる人がいない時
- ⑦ 職員間の仕事（質・量）に偏りがある時
- ⑧ トップダウン、医師会などとのしがらみで事業決定される時
- ⑨ 情報が入りにくいとき
- ⑩ 理不尽な仕事、担当外の仕事、保健師業務以外の仕事が多い時
- ⑪ 労働条件が悪い（給料・手当・昇格等）時
- ⑫ 休日出勤、時間外勤務が多い時
- ⑬ 家庭・育児・仕事の関係調整がうまくいかない時
- ⑭ 方針・指針、役割、目的・目標が不明確な時
- ⑮ 役割分担が不明確な時
- ⑯ 連携が取れない時
- ⑰ 法律との関連（法関連以外は関われない等）
- ⑱ 新しい取り組みを受け入れないこと
- ⑲ 考えや企画が反映されない時

⑳保健師の専門性が出せない時

- 21 援助が得られない時
- 22 組織内部でも業務実態が把握されていない、自分の活動が分かってもらえない
- 23 センターには決定権がない
- 24 専門化により多岐にわたる事業が起こりにくい
- 25 タテ割り行政、年功序列
- 26 毎日の仕事に変化がない
- 27 やる気のない職員がいる、非協力的職員
- 28 スーパーバイザーがいない（助言、指導）
- 29 1人 PHN

(3) 専門職として

- ① 困難事例への対応・調整がうまくいかない時
- ② 問題解決に時間がかかる、前進しない、結果が見えにくい時
- ③ リーダーシップ、指導力が出せない時
- ④ 専門的知識の習得、卒後教育がないこと
- ⑤ ケースを持っていないこと（住民との関わりが取りにくい体制）
- ⑥ 知識・能力・経験不足を感じる時
- ⑦ 達成感、充実感が無い時
- ⑧ 保健師としての専門性、自分自身がわからない時
- ⑨ 幅が広く、深く、緊急性等により抱え込みすぎているとき
- ⑩ 住民の視点と行政の視点の調整が取れないとき
- ⑪ 活動のPRができない
- ⑫ 専門業務と事務処理との両立
- ⑬ 計画的な仕事の推進、図られていない
- ⑭ サービスの掘りおこしが不十分
- ⑮ 地域特性を生かした事業展開ができていない
- ⑯ 指導者がいない

(4) 評価に関すること

- ① 評価されない時
- ② 期待に添えない時

(5) 苦情・ストレス・失敗に関すること

- ① 住民から苦情があった時
- ② 体調不良、ストレスが溜まっている時
- ③ 失敗した時、うまくいかない時

④ 疲れたとき

(6) その他

- ① 他機関の不備でお叱りを受ける時
- ② ケースにしてやれることに限界あり
- ③ Dr.、Nsの代弁を求められる時
- ④ 公務員の甘さ
- ⑤ 短期で費用対効果を求められる



問8-2 自分の仕事のどのようなところを評価して欲しいと思うか。

	活動を数では表しにくい特徴を踏まえての評価	専門性を生かした関与	住民への支援姿勢	業務への姿勢	その他
0		I	II	III	IV
1	住民の行動変容、満足度、健康意識の向上 (効果)	① 困難事例に対応している ② ケースワークをしている ③ 予防活動をしている ④ コーディネーター、スタッフ間調整をしている ⑤ 個別と集団対応を連動させている ⑥ 看護・保健・医療・福祉等幅広い視点から関与している ⑦ 住民の組織化、育成をしている ⑧ 他機関、他職種との連携をしている ⑨ 地域全体の健康増進、健康度の向上に努めている ⑩ 「保健」「健康」を切り口に対応している ⑪ 他職種へ指導、支援している	① 住民の声を大切に、住民の身近な存在として、住民の立場で住民を第一に考えている ② 自立支援、自己決定支援をしている ③ 住民の話をよく聞いている ④ 住民への情報提供をしている ⑤ 住民への援助をしている ⑥ 超えを上げにくい住民の声、気持ちを大切にしている	① 膨大な業務をこなしている ② 関連する会合、研修会は、自主的参加 ③ 迅速な対応 ④ 人権を尊重した対応	(1) (介護現場) チームでの (1) 忙しさにに関して ① 人員減の中でも事業をこなしている ② 事務職の事業もこなしている ② 組織、職場内に関して ③ 人間関係の調整をしている ④ 後輩育成、研修体制を図っている ⑤ 上司の理解が欲しい ⑥ 組織としての積極的取り組みがない ⑦ 組織としての積極的取り組みがない ⑧ 組織、体制について (時間外対応、専門職の昇格、配置等) (3) その他 ⑨ 評価して欲しいと思わない ⑩ 感想等 ⑪ ⑪ 評価の対象外関与
2	業務の過程、プロセス				
3	事業の質、内容、結果				
4	事業評価、見直しをしながら事業展開している	⑫ 専門職として専門性を生かしている ⑬ 新しい事業展開、サービスの掘り起こしをしている ⑭ 地域診断をしている ⑮ 総合的に捉える視点で対応している ⑯ 未受診者、率を減らそうとしている ⑰ 訪問業務 ⑱ 保険料、医療費等の軽減 総合計画への反映 (計画策定)	⑦ 住民の声を施策に反映させている ⑧ 住民と協働で事業を実施している	⑤ 事業計画・運営をしている ⑥ 向上心、積極性、一生懸命、仕事が好き ⑦ 自己研鑽している ⑧ 行政職の視点も含め対応している ⑨ 公務員としての服務を責任を持って守っている ⑩ 保健師業務のPR、業務紹介をしている	
5	事業、サービスの工夫、考慮をしている				
6	調査や統計処理をしている				
7	全体をみでの評価 (全ての業務、企画から評価まで等) (計画から評価まで)				
8	保健、予防種かは長期的視点でないと数に表せない、数値化しにくいいため、評価が難しい				
9	その他				